

対象国の条件：アジア・アフリカ地域で稲作を推進している国

研修コース番号：(A)201984707-J002/(B)201984708-J002/(C)201984876-J002

案件番号：(A)201984707/(B)201984708/(C)201984876

主分野課題：農業開発/灌漑・排水

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/(B) 仏語/(C) 仏語

案件概要

農民主体型用水管理は、灌漑施設の効率的な運営維持管理に貢献するだけでなく、水資源の有効活用、農業生産性や農家収入の向上、さらには農村地域全体の発展と安定にも資するものである。本コースは、北海道における水利組織（土地改良区）が有する用水管理にかかる成功経験・ノウハウを学ぶことを通じ、研修員が自国・地域における参加型用水管理システムの改善・強化策を検討することができるよう、必要な能力強化を図ることを狙いとする。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 研修員が用水管理システム改善・強化のための知識・技能を身につけて、それぞれの国に適用するためのアイデアを得る。</p> <p>【成果】 1. 自国・地域の用水管理に関する現状と課題を分析する。 2. 日本の参加型用水管理にかかる制度および土地改良区の機能と役割を理解する。 3. 日本における土地改良区と国・都道府県・市町村、その他外部組織（農業協同組合、土地改良事業団体連合会等）との関係性について理解する。 4. 自国・地域の状況に合った参加型用水管理システムを検討し、既存の用水管理システムの改善・強化策をアクションプランとして提案する。</p>	<p>【対象組織】 中央あるいは地方政府における灌漑管理（特に水管理組合の設立・支援）に関わっている部局、または水管理組合（稲作）</p> <p>【対象人材】 ・中央あるいは地方政府において、灌漑管理（特に水管理組合の設立・支援）に関わっている者、または水管理組合（稲作）の代表者 ・農業土木および灌漑土木にかかる基本的な知識を有すること（該当分野における大学卒業程度） ・3年以上の現場経験を有すること ・研修使用言語にかかる十分な語学力を有すること</p>	
<p>内 容</p> <p>1. 自国・地域における用水管理システムにかかる現状・課題分析～インセプションレポート作成・提出・発表、グループ討議 2. 講義～農業農村整備事業、土地改良制度の概要、土地改良区の機能と役割（組織、運営体制、会計、灌漑施設の運転・維持管理、灌漑技術等）、土地改良区・下部組織・農家の行う用水管理、下部組織の役割と機能、参加型用水管理概論、水利権、土地改良事業における国・都道府県・市町村の役割（支援体制）、農協の役割と機能、土地連の役割と機能等 3. 視察～土地改良区が管理する灌漑施設、下部組織、農家、農業試験場、農協等 4. グループ討議、アクションプラン作成指導、アクションプラン作成・発表</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>(A) 2019/5/14～2019/7/3 (B) 2019/8/20～2019/10/9 (C) 2019/6/26～2019/8/2</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>農村開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>(A) JICA北海道（札幌） (B) JICA北海道（札幌） (C) JICA北海道（札幌）</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2019～2021</p>

主要協力機関 (A) 調整中/(B) 調整中/(C) 調整中

特記事項及びホームページ 英語1コース、仏語2コースの計3コースの実施を想定